

ドローンの操作体験を楽しむ
生徒ら＝高山市荘川町猿丸
荘川中学校



建設業の仕事に触れる

荘川中生、ドローン操作体験

高山市荘川町猿丸の荘川中学校で、建設業の仕事や魅力について学ぶ県の出前授業があった。生徒が建設現場でも活用されているドローンの操作体験などを通じて、楽しみながら建設業への理解を深めた。

人手不足が課題とされる建設業に興味を持ってもらい、将来の職業選択の一つ

にしてもらうのが狙い。1～3年生23人が参加した。

県の担当者が、建設業には道路や橋といった社会インフラを整備する土木分野と、住宅や学校などを建てる建築分野の2種類があることを話し、それぞれの分野の仕事内容ややりがいの説明。「暮らしを豊かにし、みんなを幸せにできる仕

事」などと語った。

ドローンの操作体験は、ドローン事業者「ROBOZ」(恵那市)が講師を務め、生徒はコントローラーで操作したり、タブレット端末でプログラミングして飛ばしたりした。

3年の高橋佑和さんは「建設業の仕事のおかげで、人の生活が豊かになっていくことが分かった。ドローンは無限の可能性があり、技術の発展もすごい」と話した。

(玉田健太)